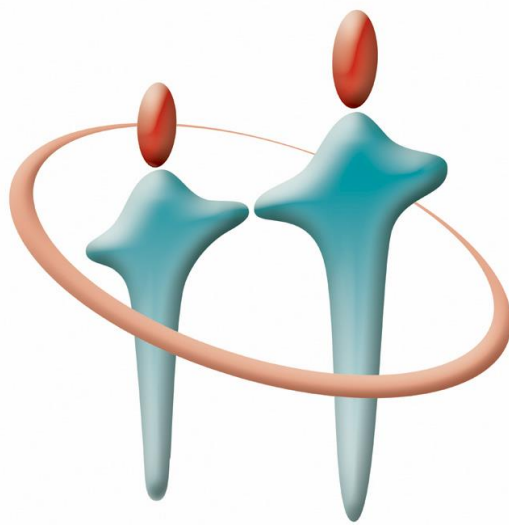


2020 年度事業報告/ 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF
NINGEN DOCK

公益社団法人
日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	1
1. 事業計画	1
2. 役員／社員／会員数等	4
(公益目的事業)	
II. 第 61 回 日本人間ドック学会学術大会	5
1. 開催概要	5
2. 主要プログラム	5
III. 第 27 回国際健診学会(IHEPA2020)/第 4 回国際人間ドック会議	9
1. 開催概要	9
2. 主要プログラム	10
IV. 学会誌等	11
1. 和文誌	11
2. 英文誌	12
3. ニュースレター	12
V. 人間ドック認定医制度	12
1. 第 22 回人間ドック認定医認定	12
2. 第 17 回人間ドック認定医更新	12
VI. 人間ドック健診専門医制度	12
1. 2020 年度人間ドック健診専門医認定試験	12
2. 人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数	12
VII. 人間ドック健診施設機能評価	13
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	13
2. サーベイヤー研修会	13
3. Ver.4.0 受審準備セミナー	13
VIII. 研修会・人材育成活動	14
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	14
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	14
3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成	15
(収益事業等)	
IX. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業	16
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	16
2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)	16
3. 風しん抗体検査および風しんの第 5 期の定期接種に係る集合契約	16
4. 新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託集合契約	16
X. その他の事業(相互扶助等事業)	16
1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業	16

(決算報告) 2021年3月31日 現在

1. 貸借対照表	1
・ 貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・ 正味財産増減計算書内訳表	4
・ 財務諸表に対する注記	6
3. 財産目録	7
・ 附属明細書	8

事業報告

<事業報告>

I. 序 章

1. 事業計画

1. 学術大会開催に関する事項

- (1) 第 61 回日本人間ドック学会学術大会
開催期日：2020 年 11 月 26 日（木）・27 日（金）
会 場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
テ ー マ：「人間ドック健診へのミッション
- 人間ドック健診がつなぐ現在・過去・未来-」
学術大会長： 荒瀬康司（虎の門病院健康管理センター・画像診断センター
統括センター長）
- (2) 第 27 回国際健診学会/ 第 4 回国際人間ドック会議
開催期日：2020 年 11 月 26 日（木）・27 日（金）
会 場：神奈川県 横浜市：パシフィコ横浜
テ ー マ：「Bringing the Japanese Ningen Dock Health
Checkup System to the World」
大 会 長： 篠原幸人（東海大学 名誉教授、
国家公務員共済組合連合会立川病院 名誉院長）

2. 研修会等開催に関する事項

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会（年 3 回）
- ②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催（年 1 回）
- ③人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催（年 2 回）
- ④人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（年 2 回）
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（年 5 回）
- ⑥遺伝学的検査アドバイザー研修会（年 1 回）

3. 人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

（本学会単独事業）

- ①人間ドック認定医の認定/更新

（日本総合健診医学会との合同事業）

- ①人間ドック健診専門医試験の実施
- ②人間ドック健診専門医の認定/更新
- ③人間ドック健診指導医の（暫定）認定/更新
- ④人間ドック健診研修施設の（暫定）認定/更新
- ⑤セルフトレーニング問題の実施 他

4. 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

- ①人間ドック健診施設機能評価の審査・認定
- ②サーベイヤーの教育・研修の企画立案
- ③認定施設の広告・広報活動（主に国民・地域住民向け、および認定施設の情報共有）
- ④機能評価受審支援事業（各種セミナー〈来場・Web〉、講師およびサーベイヤー派遣）
- ⑤機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析
- ⑥Ver. 5.0 作成に向けた検討
- ⑦全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

5. 人間ドック健診情報管理指導/遺伝学検査アドバイザーに関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定/更新
- ②遺伝学検査アドバイザーの認定

6. 特定健診・特定保健指導等に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導施設のとりまとめと保険者への紹介(集合契約A)
- ②特定健診・特定保健指導に関する情報収集
- ③風しんの抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る委託契約
- ④新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託契約

7. 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約
- ②その他

8. 広報活動に関する事項

- (1) 学会誌「人間ドック」VOL. 35 NO. 1~NO. 5 発刊予定
- (2) 英文誌「Ningen Dock International」VOL. 8 NO. 1~NO. 2 発刊予定
*英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1~2回とする
- (3) 電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに搭載する
- (4) 日本人間ドック学会「ニュースレター」の発刊(年3回)
・各種委員会活動の広報

9. 委員会活動に関する事項

- ①基本問題検討委員会
- ②倫理・利益相反委員会
- ③財務委員会
- ④社員選任/役員選定委員会
- ⑤健保連人間ドック健診等の経営や契約に関する検討委員会
- ⑥学術委員会
・がん登録委員会/喫煙対策委員会/女性の人間ドック健診の在り方に関する委員会
/低線量CT肺がん検診推進委員会
- ⑦リキッドバイオプシー委員会
- ⑧高齢受診者に対する人間ドック健診のあり方委員会
- ⑨人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会
・婦人科小委員会/乳腺小委員会/腹部超音波小委員会/尿沈渣小委員会/心電図
小委員会
- ⑩人間ドック・健診用語集作成委員会
- ⑪遺伝学的検査検討委員会
・遺伝学検査に関する教育プログラム作成の為のWG
- ⑫編集委員会
- ⑬国際委員会
- ⑭広報委員会
- ⑮人間ドック健診施設機能評価委員会
・Ver 4および保健指導評価検討小委員会
・健診実施病院支援事業検討小委員会
- ⑯特定健診/特定保健指導対策委員会
- ⑰人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会との合同委員会)
・試験問題検討/作成小委員会/認定小委員会/研修会検討小委員会/

- 施行規則細則改訂小委員会／研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会
- ⑱人間ドック健診認定医/専門医制度委員会（本学会単独）
 - ⑲人間ドック健診の有用性に関する大規模調査研究委員会
 - ⑳人間ドック健診施設実態調査委員会
- その他必要とされる委員会は逐次開催する。

10. 統計・調査に関する事項

- (1) 2019年度C会員全施設会員実態調査の実施
- (2) がん症例調査(2018年度)の実施
- (3) 大規模研究調査(2017年度人間ドック機能評価認定施設よりの電子データ)
- (4) 学術委託研究に関わる研究公募（継続および新規）
- (5) リキッドバイオプシーその他の研究推進
 - ①MicroRNA 研究の登録制度
 - ②n-Nose 共同研究の推進
 - ③画像診断における AI 応用の有用性の研究
 - ④その他
- (6) その他
厚労省等研究事業等に積極的に参画

11. その他

- (1) 2学会の連合体（仮称）「日本人間ドック・総合健診医学会」設立
- (2) 日本総合健診医学会との共催事業(共同で人間ドック健診専門医の養成)
- (3) 人間ドック健診専門医制度の一般社団法人日本専門医機構による承認
- (4) 「高齢人間ドック受診者指導の手引き」の広報
- (5) 特定健診/がん検診実施施設支援事業
- (6) 「健診団体連絡協議会」へ積極的参画、以下の項目を具体化
 - ①結果フォーマットの統一化
 - ②判定区分の統一化
- (7) 人間ドック健診の世界への普及事業、MEJ（一般社団法人Medical Excellence JAPAN）との包括的な連携
 - ①海外での学会開催等（セミナー等への協力）
 - ②海外展示会への連携（人間ドック施設機能評価の紹介等）他
- (8) その他の活動
 - ①日本医学会加盟への働き掛け
 - ②日本医学健康管理評価協議会との連携
 - ③国際モダンホスピタルショウ等への参画
 - ④NPO 法人日本人間ドック健診協会等他団体との相互協力
 - ⑤他学会とのコラボレーションを積極的に推進

2. 役員／社員／会員数等

①役員数等	理事長	1名
	副理事長	1名
	理事	28名
	監事	2名
	(名誉理事長)	1名
	(名誉会員)	23名

②社員数 181名(内役員は31名)

③正会員 / 施設会員 / 賛助会員数 (2021年3月31日現在)

A会員 (医師)	5,977名
B会員 (医師以外)	413名
C会員 (施設 (医療機関))	1,727施設
S会員 (企業など)	32団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数 (2021年3月31日現在)	
認定医交付人数	5,861名
専門医交付人数	1,916名
研修施設数 (累積認定)	331施設
指導医数 (累積認定)	982名
暫定研修施設 (指導医) 数	124施設 (113名)
・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	8,082名 (2021年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名 (2021年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	449施設 (2021年3月31日現在)
・遺伝学的検査アドバイザーの累積人数	244名(2021年3月31日現在)
・一日ドック／二日ドック指定数 (2021年3月31日現在)	
一日ドック	142施設
一日ドック・二日ドック両方	328施設

(公益目的事業)

II. 第 61 回日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

- 開催日程 Live配信期間：2020年11月26日（木）・27日（金）
オンデマンド配信期間：2020年11月26日（木）～12月11日（金）
- 開催会場 WEB 開催
- 学術大会長 荒瀬 康司（虎の門病院附属健康管理センター・画像診断センター
統括センター長）
- テーマ 人間ドック健診へのミッション：人間ドック健診がつなぐ現在・過去・未来
- 開催内容

学術大会長講演	1セッション	(1演題)
理事長講演	1セッション	(1演題)
特別講演	3セッション	(3演題)
教育講演	3セッション	(3演題)
シンポジウム	5セッション	(23演題)
特別企画	5セッション	(22演題)
遺伝学的アドバイザー研究会	1セッション	(3演題)
会員集会	3セッション	
一般演題（プレナリー・国際含む）	42セッション	(357演題)
（内、一般演題343演題、プレナリー14演題）		
Webセミナー	21セッション	(28演題)
計：84セッション（437演題）		

- 参加人数 4,006名（内3,874名/有料）
 - 早期登録者数 3,238名
(医師 2,652名)
(医師以外 467名)
(非会員 119名)
 - 通常登録者数 636名
(医師 504名)
(医師以外 57名)
(非会員 75名)
 - 招待者 132名

2. 主要プログラム

■ 学術大会長講演 オンデマンド配信

「人間ドック・健診へのミッション」

座長：那須 繁（特定医療法人財団博愛会 理事長）

演者：荒瀬 康司（国家公務員共済組合連合会虎の門病院附属 健康管理センター・画像診断センター 統括センター長）

■ 理事長講演

「我が国の人口構造の変化に対応した学会活動の変革を目指して」

座長：荒瀬 康司（国家公務員共済組合連合会虎の門病院附属 健康管理センター・画像診断センター 統括センター長）

演者：相澤 孝夫（公益社団法人 日本人間ドック学会 理事長）

■ 特別講演1

「超高齢社会における医療のあり方 ―フレイル予防を中心に」

座長：篠原 幸人（東海大学名誉教授 / 国家公務員共済組合連合会立川病院 名誉院長）

演者：大内 尉義（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 顧問）

■ 特別講演2

「骨粗鬆症の診断から骨折の予防へ：人間ドックへの期待」

座長：鏑木 淳一（医療法人社団慈誠会 人間ドック会館クリニック 上板橋病院 内科）

演者：竹内 靖博（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 内分泌センター センター長）

■ 特別講演3

「健診・人間ドックビッグデータによるエビデンス構築と未来への伝承」

座長：原 茂子（原 プレスセンタークリニック 院長）

演者：曾根 博仁（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 教授 / 新潟大学ビッグデータアクティベーションセンター）

■ 教育講演1

「人間ドック健診での費用対効果－医療価値の見える化」

座長：杉森 裕樹（大東文化大学 スポーツ・健康科学部 看護学科 / 大東文化大学大学院 予防医学 教授）

演者：田倉 智之（東京大学大学院医学系研究科医療経済政策学講座 特任教授）

■ 教育講演2

「健診における検査値の読み方」

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 健康科学 教授）

演者：吉田 博（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 教授 / 附属柏病院副院長・中央検査部 診療部長）

■ 教育講演3

「人間ドックにおける健診と乳房疾患について」

座長：平野 智寛（日本歯科大学 生命歯学部外科学講座 准教授）

演者：櫻井 健一（日本歯科大学 外科学講座（乳腺内分泌外科学） 教授）

■ シンポジウム1

「人間ドックにおけるAI」

座長：加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防検査医学講座 教授 / 新潟県労働衛生医学協会）

足立 雅樹（埼玉医科大学病院健康管理センター センター長）

特別講演：人工知能が変える未来の医療

中村 祐輔（内閣府戦略的イノベーション創造プログラム プログラムディレクター）

演者：胃内視鏡診断におけるAI の活用について

平澤 俊明（公益財団法人がん研有明病院消化器センター 上部消化管内科 副部長）

胸部X線診断におけるAI の活用について

寺本 篤司（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科 教授）

眼科診断におけるAI の活用

加藤 浩晃（デジタルハリウッド大学大学院 客員教授 / 京都府立医科大学 眼科学教室）

乳腺領域におけるAI の活用について

井上 謙一（湘南記念病院 乳がんセンター 副センター長）

保健指導におけるAI の活用について

加藤 公則（新潟大学大学院 生活習慣病予防検査医学講座 教授 / 新潟県労働衛生医学協会）

■ シンポジウム2

「健康寿命の延伸・幸福感受のための人間ドック健診の役割」

座長：福井 敏樹（医療法人社団如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 院長）

武藤 繁貴 (社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター 所長)
演者: **健康寿命延伸を見据えたこれからの保健事業**
武藤 繁貴 (社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター 所長)
エビデンスに基づく超高齢社会に有益な人間ドック健診項目とは:
東海大学東京病院健診センター抗加齢ドックのデータから
西崎 泰弘 (東海大学医学部総合診療学系健康管理学 領域主任 教授)
人間ドック健診における継続的な動脈硬化検査実施の意義
～脈波伝播速度と内臓脂肪検査を中心に～
福井 敏樹 (医療法人如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 院長)
人間ドックにおけるフレイル・サルコペニア健診と保健指導
宮地 元彦 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部 部長)
“Positive psychiatry” が健康長寿の延伸に果たす役割
鍋木 淳一 (医療法人社団慈誠会 人間ドック会館クリニック 上板橋病院 内科)

■ シンポジウム3

「健診で用いる画像診断の最新情報」

座長: 小川 眞広 (日本大学病院 消化器内科 科長)
齋藤 聡 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 肝臓センター 医長)
演者: **PET/CT がん検診の現状と将来展望**
石原 眞木子 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院付属 画像診断センター センター長)
乳がん検診のモダリティ―その現況と展望―
角田 博子 (聖路加国際病院 放射線科 医長)
健診で使える超音波検査の最新情報
小川 眞広 (日本大学病院 消化器内科 科長)
CTおよびMRIの新展開と健診への臨床応用への道
齋藤 聡 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 肝臓センター 医長)

■ シンポジウム4

「消化器がん対策における人間ドックの果たす役割」

座長: 井上 和彦 (一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長)
田中 幸子 (大阪がん循環器病予防センター 顧問)
演者: **これからの胃がん対策に果たす人間ドックの役割**
間部 克裕 (一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター倉敷 センター長)
人間ドックに求められるこれからの大腸がん検診
野崎 良一 (大腸肛門病センター高野病院 消化器内科 科長)
消化器がん対策における超音波健診の果たす役割
小川 眞広 (日本大学病院 消化器内科 科長)
膵癌の早期診断における人間ドックへの期待
花田 敬士 (JA 尾道総合病院 消化器内科 診療部長)

■ シンポジウム5

「高齢者のための健診と保健指導」

座長: 津下 一代 (女子栄養大学 特任教授)
岩男 泰 (慶應義塾大学病院予防医療センター 特任教授)
演者: **レセプトデータから見た高齢者の健康課題と健康診査・保健指導**
石崎 達郎 (東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 研究部長)
ロコモティブシンドローム評価のための運動器健診システムの構築

名倉 武雄 (慶應義塾大学医学部 運動器生体工学寄附講座 特任教授)
高齢者のための骨粗鬆症検診と予防
遠藤 直人 (新潟県立燕労災病院 整形外科)
糖尿病性腎症重症化予防事業：高齢者への保健指導における注意点
安田 宜成 (名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 腎臓内科
循環器・腎臓・糖尿病(CKD) 先進診療システム学寄付講座)
聴力低下と認知症に関する臨床研究の最近の話題と高齢者健診への展望
佐治 直樹 (国立長寿医療研究センター もの忘れセンター 副センター長)

■ 特別企画1

「腹部超音波検診判定マニュアル2021年版」

座長：田中 幸子 (大阪がん循環器病予防センター 顧問)
水間 美宏 (特定医療法人神戸健康共和会 東神戸病院 内科)
演者：**検診判定マニュアルの作成・改訂と所見用語**
和田 高士 (東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 健康科学 教授)
腹部超音波検診判定マニュアルー実施基準ー
西村 重彦 (一般財団法人住友病院 外科 外科系診療局長)
腹部超音波検診判定マニュアル肝臓・脾臓
小川 眞広 (日本大学病院 消化器内科 科長)
腹部超音波検診判定マニュアルー胆道・膵臓の判定基準変更案ー
岡庭 信司 (飯田市立病院 消化器内科 部長・健康管理課 主任部長)
腎・腹部大動脈における改訂のポイント
平井 都始子 (奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター 病院教授)

■ 特別企画2

健診施設機能評価・支援事業委員会シンポジウム 「受けてよかった機能評価」

座長：石坂 裕子 (健診施設機能評価・支援事業委員会 委員長/ 三井記念病院 総合健診センター センター長)

演者：はじめに

石坂 裕子 (健診施設機能評価・支援事業委員会 委員長/ 三井記念病院 総合健診センター センター長)

Ver4 受審結果からわかること (V4 中間報告)

高橋 直樹 (Ver.4.0運営WG 委員/ 医療法人社団 相和会 横浜総合健診センター 院長)

受審前後に活用できる支援事業について

渡川 勲 (健診施設機能評価・支援事業委員会 委員/ 施設支援WG 委員)

認定施設事例発表

(1) 「接遇マナーの取り組み～機能評価審査を終えて～」

山川 陽子 (医療法人社団東山会 調布東山病院
レセプションコンシェルジュ・マネージャー 接遇マナーインストラクター)

五箇谷 亜子 (医療法人社団東山会 調布東山病院
レセプションコンシェルジュ・接遇マナーインストラクター)

(2) 「組織で取り組む健診事後措置～事務的な視点からの質改善～」

稲岡 美穂 (一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター 事務部長)

(3) 「現場からの保健指導体制の構築」

秋山 彰美 (社会福祉法人 三井記念病院総合健診センター 保健師)

■ 特別企画3

「第1部 知っておきたいこの疾患・覚えておきたいこの画像【消化管】」

演者：加藤 智弘 (東京慈恵会医科大学附属病院 総合健診・予防医学センター 診療部長)
岩男 泰 (慶應義塾大学病院予防医療センター 特任教授)

2. 主要プログラム

■ Special Lecture 1

「Odyssey and future of Comprehensive Health Checkup System (Ningen Dock) and IHEPA」

Chair: Yukito Shinohara (Professor Emeritus of Tokai University / Honorary President of KKR / Tachikawa Hospital, Japan)

Special Comment : Vicki L. Shambaugh (Pacific Health Research Education Institute, USA)

Speaker : Toshio Kushiro (The Hinohara Memorial Clinic, Japan)

■ Special Lecture 2

「Extracellular microRNAs as a novel liquid biopsy for early detection of cancer」

Chair: Takashi Wada (Health Science, Jikei University Graduate School of Medicine, Japan)

Speaker: Takahiro Ochiya (Department of Molecular and Cellular Medicine, Tokyo Medical University, Japan)

■ Special Lecture 3

「Invention and practical application for cancer-detecting test, N-NOSE」

Chair: Hiroya Kumamaru (Health Care Centre of AOI Universal Hospital, Japan)

Speaker: Takaaki Hirotsu (HIROTSU BIO SCIENCE INC., Japan)

■ Special Lecture 4

「Quo Vadis for the Japanese Style Ningen Dock Health Checkup System? 」

Chair: Toshio Kushiro (The Hinohara Memorial Clinic, Japan)

Speaker: Yukito Shinohara (Professor Emeritus of Tokai University / Honorary President of KKR Tachikawa Hospital, Japan)

■ Special Lecture 5

「Establishing clinical evidences for health and well-being via analysis of health checkup big data」

Chair: Shigeo Hinohara (Shin Akasaka Clinic, Japan)

Speaker: Hirohito Sone (Department of Hematology, Endocrinology and Metabolism, Niigata University Faculty of Medicine, Japan)

■ Symposium 1

「How to Utilize Genetic Information in Life Style Modification」

Chairs: Vicki L. Shambaugh (Pacific Health Research Education Institute, USA)

Akira Ogami (Department of Work Systems and Health, Institute of Industrial Ecological Sciences, University of Occupational and Environmental Health, Japan)

Speakers: **From Polygenic to Omnigenic: A New View of Human Longevity From The Discovery of a FOXO3 Driven Gene Hub on Chromosome 6**

Bradley J. Willcox (Kuakini Medical Center and Pacific Health Research and Education Institute, USA)

The longevity associated allele of FOXO3 protects against telomere attrition during aging

Richard Allsopp (Department of Anatomy, Biochemistry and Physiology, University of Hawaii, USA)

Application of genetic information to preventive medicine: Engagement of Japan Society of Ningen Dock

Junichi Taguchi (Tokyo Midtown Clinic, Japan)

Problems of genetic examination about polygenic diseases

Takashi Yamagami (Hokuriku Health Service Association, Japan)

■ Symposium 2

「Evidence-based Ningen Dock Health Checkup System : Current Issues and Future Strategies」

Chairs: Bradley J. Willcox (Kuakini Medical Center and Pacific Health Research and Education Institute, USA)

Junichi Kaburaki (Preventive Health Care Center, Kamiitabashi Hospital, Japan)

Speakers: **Efficiency of Japanese style Comprehensive Health Checkup System (Ningen Dock) and the follow-up system**

Junichi Kaburaki (Preventive Health Care Center, Kamiitabashi Hospital, Japan)

Evidence-based beneficial health check-up items for super-aged society: Data analysis from the Anti-aging Health Check-up system in Tokai University Tokyo Hospital

Yasuhiro Nishizaki (Department of Clinical Health Science, School of Medicine, Tokai University, Japan)

Significance of continuous arteriosclerosis examination in the Ningen Dock health checkup system: Focusing on the secular change of brachial-ankle pulse wave velocity (baPWV)

Toshiki Fukui (Center for Preventive Medical Treatment Olive Takamatsu Medical Clinic, Japan)

Evidence-based Ningen Dock Health Checkup System: Current issues and Future strategies

Hiroki Sugimori (Department of Preventive Medicine, Daito Bunka University Graduate School of Sports and Health Science, Japan)

■ Sponsored Seminar 1

「Current State of Health Checkup System in China」

Chairs: Katsuyuki Fukutake (The Japan Society of Health Evaluation and Promotion / Tokyo Medical University, Japan)

Speakers: **Current State of Health Checkup system in China**

Rong Yu (Medical Check-up Sub-Association of Chinese Non-government Medical Institution Association, China)

Introduction of Xikang Cloud Hospital

Jiren Liu (Neusoft Corporation, China)

■ Sponsored Seminar 2

「Current State of Health Checkup System in Taiwan」

Chairs: Yasuhiro Nishizaki (Department of Clinical Health Science, School of Medicine, Tokai University, Japan)

Speakers: Kuo-Chin Huang (Department of Family Medicine, National Taiwan University Hospital, Taiwan)

IV. 学会誌等

1. 和文誌「人間ドック」 (年5回)

VOL. 35 NO. 1 2020. 6 (原著論文集)

VOL. 35 NO. 2 2020. 7 (原著論文集)

VOL. 35 NO. 3 2020. 11 (学術大会プログラム・抄録集)

VOL. 35 NO. 4 2020. 12 (原著論文集/学術大会開催案内)
VOL. 35 NO. 5 2021. 3 (原著論文集/学術大会開催案内)

2. 英文誌「Ningen Dock International」(年1回)

VOL. 8 NO. 1 2021. 3 (原著英文誌)

3. 日本人間ドック学会 ニュースレター

VOL. 6 VOL. 7

V. 人間ドック認定医制度

1. 第22回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、2020年4月1日以降の認定者数は120名であり、認定医交付総数として5,861名となった。

2. 第17回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度(更新)は、2020年4月1日以降の更新者数は245名であり、更新者総数は4,520名である。

VI. 人間ドック健診専門医制度

2011年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、2012年度より日本総合健診医学との合同事業となった。2020年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、受験合格者数は69名(日本人間ドック学会58名、日本総合健診医学会11名)となった。人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位(両学会企画30単位以上・両学会以外の企画上限20単位)を取得することとなる。

また、専門医受験者数を増やす目的で、大学病院等も含め暫定指導医・暫定研修施設の委嘱を行った。

1. 2020年度人間ドック健診専門医認定試験 (日本総合健診医学会との合同9回目)

日時: 2020年10月18日(日) 13:00~15:00

会場: 品川フロントビル 地下1階会議室(東京都港区港南2-3-13)

受験対象者: 受験資格該当者(研修施設での満3年以上の研修歴がある者)

試験内容: 試験問題集等 計100問出題

100分間 マークシート方式による筆記試験

◆2020年度人間ドック健診専門医 認定者数 (※2020年度更新者数: 186名)

日本人間ドック学会 2020年度専門医認定者数: 58名

(日本総合健診医学会: 11名 2020年度認定者数 両学会合計69名)

認定期間は、2021年4月1日~2026年3月31日 5年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数(ドック学会累計): 1,916名】

2. 2020年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

日本人間ドック学会 新規認定指導医: 24名 新規認定研修施設: 3施設

(日本総合健診医学会: 新規認定指導医: 8名、新規認定研修施設: 6施設)

【人間ドック健診指導医 認定者数（ドック学会 累計）：982名 ※更新指導医：178名】
 【人間ドック健診研修施設 認定数（ドック学会 累計）：331施設 ※更新研修施設：33施設】

※暫定指導医・暫定研修施設として、大学病院等を委嘱（5年間）した。（累計）
 日本人間ドック学会 暫定研修施設：124施設（暫定指導医：113名）
 （日本総合健診医学会： 暫定研修施設：81施設（暫定指導医：80名））

委嘱認定期間は、2021年4月1日～2026年3月31日 5年間をもって委嘱終了とする。

Ⅶ. 人間ドック健診施設機能評価

2021年3月末現在、658施設からの受審申請があり、うち新規認定を取得した施設は449施設である。新規認定449施設のうち、更新を辞退した施設は58施設あり、現在有効な認定施設は391施設である。なお、認定取得に向け受審準備中の施設は現在約200施設ほどある。認定施設は46都道府県と台湾に分布している。

1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数

【認定施設の分布 *2020年3月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	13	東京都	64	滋賀県	3	香川県	4
青森県	2	神奈川県	21	京都府	14	愛媛県	5
岩手県	4	新潟県	5	大阪府	27	高知県	3
宮城県	9	富山県	3	兵庫県	13	福岡県	16
秋田県	5	石川県	5	奈良県	3	佐賀県	1
山形県	3	福井県	3	和歌山県	1	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	5
茨城県	3	長野県	16	島根県	2	大分県	3
栃木県	8	岐阜県	7	岡山県	10	宮崎県	1
群馬県	7	静岡県	9	広島県	12	鹿児島県	4
埼玉県	13	愛知県	24	山口県	2	沖縄県	5
千葉県	16	三重県	8	徳島県	1	海外(台湾)	2

2. サーベイヤ－研修会

サーベイヤ－のスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、WEBセミナー（オンデマンド配信）へ変更した。

1. 配信期間 2020年10月12日（月）～ 2020年11月2日（月）

3. Ver. 4.0 受審準備セミナー（オンデマンド配信）

受審（希望）施設を対象に Ver.4.0 受審準備セミナーを開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、参加者の健康と安全を最優先に考慮し、WEBセミナー（オンデマンド配信）とした。

<第1回>

1. 配信期間：2020年10月12日（月）～ 2020年11月2日（月）

2. 参加者数：83 施設

<第2回>

1. 配信期間：2021年1月12日（火）～ 2021年2月15日（月）
2. 参加者数：33 施設

Ⅷ. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

- 第55回（8/29）については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止
- 第56回 人間ドック健診認定医・専門医研修会
配信期間：2020年11月30日（月）～12月15日（火）
方法：オンデマンド配信
参加者数：1,996名（ドック学会認定医・専門医1,921名、総合専門医75名）
「子宮がん検診ー最も重要なポイントは細胞採取」
「新型コロナウイルス感染症と臨床検査」
「研究倫理と臨床研究法」

- 第57回（21/3/7）については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

- 人間ドック健診情報管理指導士 研修会
（対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	配信期間	方法	認定者	内 訳
第35回	2021年1月22日（金） ～2月22日（月）	オンデマンド配信	441名	医師：82名 保健師：295名 管理栄養士：64名 （他修了者：44名）

【2020年度 オンデマンド配信版プログラム】

- 『特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み』
- 『生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識』

- エネルギー収支を改善するための保健指導
- 『食生活に関する保健指導の実践』
- 『身体活動に関する保健指導の実践』
- 『特定健診・特定保健指導における保険者との連携』
- 『行動変容に関する理論と実践』
- 『喫煙・飲酒習慣者への保健指導』
- 『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』
- 『人間ドック健診におけるがん検診-その現状と展望』

演習：保健指導方法の研究

『初回面接のビデオ学習による演習』

『初回面接の記録について』

『継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）』

○受講者からの質問への回答と演習のフィードバック配信（2021/3/24/-31）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会（オンデマンド配信）

（対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	配信期間	参加者数	内 訳
第 59 回	2020 年 9 月 2 日（水）～9 月 18 日（金）	<u>887 名</u>	医師： 320 名 保健師：388 名 管理栄養士：179 名
第 60 回	2020 年 11 月 5 日（木）～11 月 20 日（金）	<u>402 名</u>	医師： 97 名 保健師：211 名 管理栄養士：94 名
第 61 回	2021 年 1 月 13 日（水）～1 月 29 日（金）	<u>470 名</u>	医師：107 名 保健師：267 名 管理栄養士：95 名 看護師：1 名

【2020 年度 プログラム】

『健診・保健指導における新型コロナ感染症対策』

『知っておきたい生活習慣病関連の臨床ガイドラインのポイント』

『事例検討』（演習テーマ：不規則な生活の方への保健指導）

（事例提供）

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク 2 対象者への支援方法について
- ・事例における食生活に関するポイント講義
- ・事例における身体活動・運動に関するポイント講義
- ・事例における喫煙に関するポイント講義
- ・事例のその後と演習のまとめ

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成

認定対象（医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師）

参加登録者：210 名

●第3回 遺伝学的検査アドバイザー研修会（第62回日本人間ドック学会学術大会特別企画5）

配信期間：2020年11月26日（木）～12月11日（金）

方法：オンデマンド配信

プログラム

「遺伝学的検査アドバイザー講習・実践とアップデート」

- ・遺伝学的検査アドバイザー講習・実践とアップデート
- ・多因子遺伝の遺伝学的検査 ―ロールプレイを中心に―
- ・ポリジェニック・リスク・スコアの現状と将来

(収益事業等)

IX. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2021年3月末現在の指定施設は、一日ドックのみ142施設、一日ドック・二日ドック両方328施設である。

2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業

○令和2年度特定健康診査・特定保健指導集合契約A参加保険者及び参加健診施設

- ◆健康保険組合連合会
 - ・北海道新聞社健康保険組合 他
- ◆全国健康保険協会（協会けんぽ）
- ◆一般社団法人共済組合連盟（国家公務員共済組合）
 - 衆議院共済組合・参議院共済組合・厚生労働省共済組合・裁判所共済組合
 - 会計検査院共済組合・厚生労働省第二共済組合・林野庁共済組合・日本郵政共済組合
- ◆一般社団法人地方公務員共済組合協議会（地方公務員共済組合）
 - 地方職員共済組合・公立学校共済組合・警察共済組合
 - 東京都職員共済組合等の市町村職員共済組合 他
- ◆日本私立学校振興・共済事業団
- ◆全国土木建築国民健康保険組合
- ◆全国建設工事業国民健康保険組合
- ◆全国歯科医師国民健康保険組合
- ◆近畿税理士国民健康保険組合
- ◆岡山県建設国民健康保険組合
- ◆福島県
- ◆岩手県

○集合契約A参加健診施設数

- ・日本人間ドック学会 1,246施設
- ・日本病院会 419施設

3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約

2021年3月末現在の契約参加施設は、1207施設である。

4. 新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託集合契約

2021年3月末現在の契約参加施設は、58施設である。

X. その他の事業(相互扶助等事業)

1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度より新規事業として、人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから学術委託研究を公募していたが、2020年度は新型コロナの影響で公募を中止した。

決算報告

2021年3月31日 現在

貸借対照表

2021年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	290,197,303	257,916,010	32,281,293
未収金	3,325,319	937,462	2,387,857
前払金	1,883,126	9,085,356	△ 7,202,230
仮払金	29,200	46,720	△ 17,520
流動資産合計	295,434,948	267,985,548	27,449,400
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	1,248,639	1,401,214	△ 152,575
什器備品	3,185,033	1,011,848	2,173,185
ソフトウェア	343,200	448,800	△ 105,600
その他固定資産合計	4,776,872	2,861,862	1,915,010
固定資産合計	4,776,872	2,861,862	1,915,010
資産合計	300,211,820	270,847,410	29,364,410
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,227,980	1,232,820	995,160
未払消費税等	3,932,200	2,130,100	1,802,100
前受金	11,715,000	16,020,000	△ 4,305,000
預り金	1,394,843	680,039	714,804
仮受金	35,000	61,000	△ 26,000
賞与引当金	4,521,135	4,235,547	285,588
流動負債合計	23,826,158	24,359,506	△ 533,348
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,150,518	5,194,960	955,558
固定負債合計	6,150,518	5,194,960	955,558
負債合計	29,976,676	29,554,466	422,210
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	199,150,331	170,208,131	28,942,200
一般正味財産合計	199,150,331	170,208,131	28,942,200
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	270,235,144	241,292,944	28,942,200
負債及び正味財産合計	300,211,820	270,847,410	29,364,410

貸借対照表内訳表

2021年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	290,197,303	0	290,197,303
未収金	0	3,325,319	0	0	3,325,319
前払金	1,827,349	20,917	34,860	0	1,883,126
仮払金	18,680	0	1,280,406	△ 1,269,886	29,200
流動資産合計	1,846,029	3,346,236	291,512,569	△ 1,269,886	295,434,948
2. 固定資産					
(1) その他固定資産					
建物	1,092,559	78,040	78,040	0	1,248,639
什器備品	0	0	3,185,033	0	3,185,033
ソフトウェア	343,200	0	0	0	343,200
長期預け金	0	0	35,620,447	△ 35,620,447	0
その他固定資産合計	1,435,759	78,040	38,883,520	△ 35,620,447	4,776,872
固定資産合計	1,435,759	78,040	38,883,520	△ 35,620,447	4,776,872
資産合計	3,281,788	3,424,276	330,396,089	△ 36,890,333	300,211,820
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	2,227,980	0	0	0	2,227,980
未払消費税等	3,822,003	110,197	0	0	3,932,200
前受金	11,715,000	0	0	0	11,715,000
預り金	1,285,825	28,477	80,541	0	1,394,843
仮受金	0	1,269,886	35,000	△ 1,269,886	35,000
賞与引当金	4,119,256	150,705	251,174	0	4,521,135
流動負債合計	23,170,064	1,559,265	366,715	△ 1,269,886	23,826,158
2. 固定負債					
退職給付引当金	5,603,805	205,017	341,696	0	6,150,518
長期預り金	35,542,407	78,040	0	△ 35,620,447	0
固定負債合計	41,146,212	283,057	341,696	△ 35,620,447	6,150,518
負債合計	64,316,276	1,842,322	708,411	△ 36,890,333	29,976,676
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金 (うち特定資産への充当額)	35,542,406	0	35,542,407	0	71,084,813
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	△ 96,576,894	1,581,954	294,145,271	0	199,150,331
一般正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	△ 96,576,894	1,581,954	294,145,271	0	199,150,331
正味財産合計	△ 61,034,488	1,581,954	329,687,678	0	270,235,144
負債及び正味財産合計	3,281,788	3,424,276	330,396,089	△ 36,890,333	300,211,820

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	111,818,000	112,978,000	△ 1,160,000
正会員受取会費	59,768,000	60,478,000	△ 710,000
施設会員受取会費	51,210,000	51,510,000	△ 300,000
賛助会員受取会費	840,000	990,000	△ 150,000
事業収益	150,990,500	214,133,800	△ 63,143,300
学術大会参加収益	42,730,000	52,647,000	△ 9,917,000
学術大会展示出店料収益	2,860,000	24,908,000	△ 22,048,000
学術大会共催セミナー収益	21,780,000	25,776,800	△ 3,996,800
認定医・専門医研修会事業収益	19,210,000	14,840,000	4,370,000
専門医試験・認定事業収益	7,730,000	5,788,000	1,942,000
認定医認定・更新事業収益	6,050,000	7,830,000	△ 1,780,000
情報管理指導士研修認定事業収益	32,270,000	34,924,000	△ 2,654,000
遺伝的検査アドバイザー事業収益	2,420,000	672,000	1,748,000
機能評価審査・認定事業収益	14,750,000	25,750,000	△ 11,000,000
指定事業収益	500,000	19,130,000	△ 18,630,000
雑誌販売事業収益	690,500	1,868,000	△ 1,177,500
受取補助金等	0	1,550,000	△ 1,550,000
受取補助金	0	1,550,000	△ 1,550,000
受取寄付金	3,102,520	3,050,000	52,520
受取寄付金	3,102,520	3,050,000	52,520
雑収益	7,251,286	9,525,363	△ 2,274,077
受取利息	204,626	2,690	201,936
広告掲載料収益	1,709,000	3,017,600	△ 1,308,600
雑収益	5,337,660	6,505,073	△ 1,167,413
経常収益計	273,162,306	341,237,163	△ 68,074,857
(2) 経常費用			
事業費	225,308,950	300,683,775	△ 75,374,825
給料手当	51,643,484	50,352,246	1,291,238
法定福利費	8,020,672	7,742,802	277,870
退職給付費用	3,152,072	2,322,086	829,986
旅費交通費	3,342,784	20,527,761	△ 17,184,977
通信運搬費	11,644,060	10,307,113	1,336,947
減価償却費	249,699	282,140	△ 32,441
消耗品費	3,494,854	551,245	2,943,609
印刷製本費	26,163,500	46,520,516	△ 20,357,016
光熱水料費	534,224	536,214	△ 1,990
賃借料	15,883,805	50,196,736	△ 34,312,931
会議費	235,281	8,468,178	△ 8,232,897
諸謝金	7,950,332	8,047,195	△ 96,863
租税公課	6,249,200	4,588,500	1,660,700
委託費	82,378,848	84,170,871	△ 1,792,023
支払助成金	2,302,389	5,515,684	△ 3,213,295
雑費	2,063,746	554,488	1,509,258
管理費	18,911,154	26,004,893	△ 7,093,739
給料手当	3,770,552	3,695,008	75,544
法定福利費	589,381	570,850	18,531
退職給付費用	211,486	167,134	44,352
福利厚生費	460,410	644,130	△ 183,720
旅費交通費	3,036,512	7,577,339	△ 4,540,827
通信運搬費	3,074,609	2,550,669	523,940
減価償却費	694,739	636,050	58,689
消耗品費	744,194	1,416,935	△ 672,741
印刷製本費	945,648	886,127	59,521
光熱水料費	31,424	31,542	△ 118
賃借料	626,670	1,205,477	△ 578,807
会議費	6,961	416,428	△ 409,467
保険料	446,908	440,763	6,145
諸謝金	0	50,000	△ 50,000
租税公課	74,030	71,250	2,780
委託費	3,859,797	4,624,304	△ 764,507
交際費	4,255	264,420	△ 260,165
雑費	333,578	756,467	△ 422,889
経常費用計	244,220,104	326,688,668	△ 82,468,564
当期経常増減額	28,942,202	14,548,495	14,393,707
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	2	0	2
固定資産除売却損	2	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額	28,942,200	14,548,495	14,393,705
一般正味財産期首残高	170,208,131	155,659,636	14,548,495
一般正味財産期末残高	199,150,331	170,208,131	28,942,200
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	270,235,144	241,292,944	28,942,200

正味財産増減計算書内訳表

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本人間ドック学会

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計	
	①学術大会・ 国際学会	②学会誌	③技能検定・資格 認定(認定医・ 専門医・機能評 定)	④資格付与(情報 管理・食生活改善 指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	①指定	②その他事業				共通
I. 一般正味財産増減の部												
【1. 経常増減の部】												
(1) 経常収益												
1. 受取会費	0	0	0	0	0	29,884,000	0	2,361,216	0	2,361,216	27,522,784	
1101 正会員受取会費	0	0	0	0	0	29,884,000	0	2,361,216	0	2,361,216	27,522,784	
1102 施設会員受取会費	0	0	0	0	0	25,605,000	0	0	0	25,605,000	23,190,129	
1103 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	420,000	0	0	0	420,000	0	
1201 学術大会参加収益	42,730,000	0	0	0	0	0	0	0	0	42,730,000	42,730,000	
1202 学術大会展示出店料収益	2,860,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2,860,000	2,860,000	
1203 学術大会共催セミナー収益	21,780,000	0	0	0	0	0	0	0	0	21,780,000	21,780,000	
1204 認定医・専門医研修会事業収益	0	0	19,210,000	0	0	0	0	0	0	19,210,000	19,210,000	
1205 専門医試験・認定事業収益	0	0	7,730,000	0	0	0	0	0	0	7,730,000	7,730,000	
1206 認定医認定・更新事業収益	0	0	6,050,000	0	0	0	0	0	0	6,050,000	6,050,000	
1207 情報管理科博士研修認定事業収益	0	0	32,270,000	0	0	0	0	0	0	32,270,000	32,270,000	
1208 適応的検査7トハ付-事業収益	0	0	2,420,000	0	0	0	0	0	0	2,420,000	2,420,000	
1209 機能評価審査・認定事業収益	0	0	14,750,000	0	0	0	0	0	0	14,750,000	14,750,000	
1210 指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	500,000	0	500,000	500,000	
1211 雑誌販売事業収益	180,000	42,500	488,000	0	0	0	0	0	0	680,500	680,500	
1212 国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1301 助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1302 補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1401 受取寄付金	3,102,520	0	0	0	0	0	0	0	0	3,102,520	3,102,520	
1402 受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1501 受取利息	169	0	0	0	0	0	0	0	0	169	204,457	
1502 広告掲載料収益	1,089,000	620,000	0	0	0	0	0	0	0	1,709,000	1,709,000	
1503 雑収益	0	192,419	1,218,000	0	0	0	0	3,927,241	0	1,410,419	3,927,241	
【経常収益計】	71,741,689	854,919	49,426,000	34,690,000	0	55,909,000	0	6,842,112	2,361,216	9,203,328	51,337,370	
(2) 経常費用												
1. 事業費												
2101 給料手当	3,703,491	1,740,247	29,926,896	12,279,300	1,963,244	0	0	2,030,306	0	2,030,306	51,643,484	
2102 法定福利費	572,349	263,963	4,634,189	1,916,367	308,385	0	0	325,419	0	325,419	8,020,672	
2103 退職給付費用	204,287	93,235	1,908,900	716,346	111,052	0	0	118,252	0	118,252	3,152,072	
2104 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2105 旅費交通費	803,366	0	2,181,098	253,360	98,960	0	0	6,000	0	6,000	3,342,784	
2106 通信運搬費	649,728	6,709,233	1,519,342	2,078,142	572,475	29,000	0	86,140	30,000	116,140	11,644,060	
2107 減価償却費	8,476	3,391	88,155	139,506	5,086	0	0	5,085	0	5,085	249,689	
2108 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2109 消耗品費	2,802,606	277,053	148,082	221,452	42,581	0	0	3,080	0	3,080	3,494,854	
2110 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2111 印刷製本費	1,862,621	14,797,087	5,082,100	3,727,187	628,633	0	0	65,872	0	65,872	26,163,500	
2112 光熱水料費	31,425	12,570	326,819	125,700	18,855	0	0	18,855	0	18,855	534,224	
2113 賃借料	8,663,880	167,332	4,849,777	1,673,320	278,498	0	0	250,998	0	250,998	15,883,805	
2114 会議費	211,500	0	9,596	14,095	0	0	0	0	0	0	235,281	
2115 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2116 雑謝金	3,674,003	0	2,416,329	1,860,000	0	0	0	0	0	0	7,950,332	
2117 租税公課	2,714,997	31,897	1,955,033	1,372,155	0	0	0	175,118	0	175,118	6,249,200	
2118 委託費	52,648,773	7,401,492	3,661,173	12,356,352	5,791,725	478,500	0	20,646	20,187	40,833	82,378,848	
2119 支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	2,302,389	0	2,302,389	2,302,389	
2120 雑費	271,354	255,880	1,376,780	54,287	102,200	165	0	2,640	0	3,080	2,063,746	
2201 給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,770,552	
2202 法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	589,381	

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物

定率法(ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備は定額法)

什器備品

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

15年

什器備品

4年～10年

② 無形固定資産

ソフトウェア

定額法

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備える為、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,906,000	1,657,361	1,248,639
什器備品	5,373,146	2,188,113	3,185,033
合計	8,279,146	3,845,474	4,433,672

財 産 目 録

2021年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局(9口座) 普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店(3口座) 定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局 ： 大和ネクスト銀行	支払資金として使用		10,211,686
				139,923,143
				30,062,474
				10,000,000
				100,000,000
未収金	NPO日本人間ドック健診協会事務委託料等 特定健診パンフレット・DVD著作権料 学術委託研究費返戻			2,310,000 912,708 102,611
前払金	翌年度事務所賃料 翌年度学術大会前払額			627,495 1,255,631
仮払金	交通費等仮払			29,200
流動資産合計				295,434,948
(固定資産)				
その他固定資産				
建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用		1,248,639
				257,036
				2,537,408
				72,358
什器備品	パーソナルコンピューター 複合機2台 Web会議用備品一式 プロジェクター 電話設備	会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用		84,480
				233,751
				343,200
ソフトウェア	公益目的事業管理ソフト	会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産)		343,200
固定資産合計				4,776,872
資産合計				300,211,820
(流動負債)				
未払金	経費未払額			2,227,980
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額			3,932,200
前受金	次年度事業前受金			11,715,000
預り金	源泉所得税、住民税 社会保険料 国際健診学会			559,063
				408,300
				427,480
仮受金	会費等二重払い			35,000
賞与引当金	職員に対するもの	職員の翌年度賞与支給見込額の中の当期 対応額		4,521,135
流動負債合計				23,826,158
(固定負債)				
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの		6,150,518
固定負債合計				6,150,518
負債合計				29,976,676
正味財産				270,235,144

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	4,235,547	4,521,135	4,235,547	0	4,521,135	
退職給付引当金	5,194,960	955,558	0	0	6,150,518	